

大楠小学校で「脱穀体験」を実施しました

11月11日(月)、大楠小学校の5年生を対象に脱穀体験を実施しました。まず、足踏み脱穀機を体験しました。実際に大正～昭和初期に使われていたもので、皆さんそのレトロさに驚きつつ、一生懸命に脱穀しました。脱穀で稲穂から外された穀類を唐箕とうみに投入し、重いもみと軽いわら藁くずなどを選別しました。

最後に、脱穀した後の稲わらを使って1人1つの正月飾り作りにも挑戦しました。6月5日の田植え体験、10月16日の稲刈り体験に引き続いての脱穀体験で、今年度の田んぼと環境保全活動は、これで終了です。

今回脱穀した粳は、精米後、学校へお届けします。楽しみに待っていてください。



脱穀方法と注意事項の説明



足踏み脱穀機の体験



唐箕体験では、粳と藁くずを選別しました。



正月飾り作りにみんなで協力して挑戦しました。